

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 同時発表

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和5年1月20日

港湾局海岸・防災課

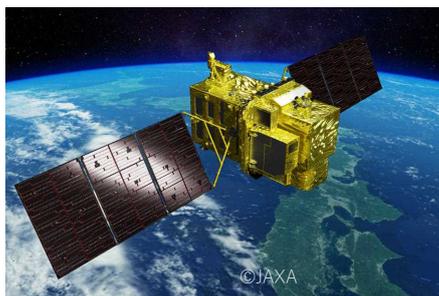
港湾の被災状況把握に JAXA の衛星画像を活用

国土交通省港湾局（以下、港湾局）と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）は、1月5日（木）に人工衛星画像データ（以下、衛星画像データ）の活用に関する協定を締結しました。今後、災害が発生した場合はこの取組を活用して、港湾施設の被害状況を迅速に把握し、港湾機能の早期復旧に努めて参ります。

地震・風水害等の大規模災害発生時、港湾では緊急支援物資の受入やサプライチェーン維持の観点から港湾機能の維持が必要となる一方、面的な広がりを持つ港湾は、被災状況の把握に時間を要するだけでなく、津波・高潮警報等の発令等により、現地調査に着手できない恐れがあります。

これらの課題に対応するため、衛星画像データを効果的に活用して、現地調査ができない場合においても港湾施設の被災状況を迅速に把握することができる体制の構築に向けて、港湾局と JAXA は衛星画像データの活用に関する協定を締結しました。活用される人工衛星は、現在運用中の陸域観測技術衛星2号「だいち2号」(ALOS-2)だけでなく、今後打上げが予定されている先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3)や先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4)も含まれます。

本協定により、港湾局と JAXA は、災害発生時の緊急観測のための連絡体制を整備するとともに港湾の被災状況把握を対象とした、衛星画像データの活用を推進するためのワーキンググループを設置し、衛星画像データの効果的な活用方法の検討を行います。この取組により、衛星画像データを活用した迅速かつ効果的な災害対応を可能とし、緊急物流ネットワークの確保や港湾機能の早期復旧による社会経済活動への影響を最小化することを目指します。



先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3)

「だいち」初号機の光学画像による港湾の状況把握
(H23 東日本大震災 防波堤の損壊を確認)

【お問い合わせ先】

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 災害対策室 福元、大橋

TEL : 03-5253-8111(内線 46751、46765)、03-5253-8689(直通)